



# Espacenet Bibliographic data: JP 62200269 (U)

**No title available**

Publication date: 1987-12-19  
Inventor(s):  
Applicant(s):  
Classification: - International: *H01R33/955*; (IPC 1-7): H01R33/955  
- European:  
Application number: JP19860088372U 19860610  
Priority number(s): JP19860088372U 19860610

**Abstract not available for JP 62200269 (U)**

Last updated: 04.04.2011 Worldwide Database 5.7.20; 92p

# 公開実用 昭和62-200269

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U) 昭62-200269

⑬ Int. Cl.<sup>4</sup>

H 01 R 33/955

識別記号

庁内整理番号

Z-6625-5E

⑭ 公開 昭和62年(1987)12月19日

審査請求 未請求 (全 頁)

⑮ 考案の名称 ICソケット

⑯ 実 願 昭61-88372

⑰ 出 願 昭61(1986)6月10日

⑱ 考 案 者 川 口 徹 東京都港区芝5丁目33番1号 日本電気株式会社内  
⑲ 出 願 人 日本電気株式会社 東京都港区芝5丁目33番1号  
⑳ 代 理 人 弁理士 菅 野 中

## 明 細 書

### 1. 考案の名称

#### ＩＣソケット

### 2. 実用新案登録請求の範囲

(1) ＩＣのピンを嵌合接続するピン接続部を備えたＩＣソケットにおいて、ピン接続を導通及び非導通状態に切換えるスイッチを前記ピン接続部に有することを特徴とするＩＣソケット。

### 3. 考案の詳細な説明

#### 〔産業上の利用分野〕

本考案はＩＣソケットに関する。

#### 〔従来技術〕

マイクロプログラム制御される装置はそのマイクロプログラム命令群をEPROM あるいはEEPROM等に格納する。それは評価段階でのマイクロプログラムミス等の修正を手軽に行なえるよう考慮しているからである。つまり、EPROM あるいはEEPROMをパッケージに搭載するとき、パッケージ側にＩＣソケットを実装し、そこにEPROM あるいはEEPROMを実装することで着脱を可能としている。

717



そしてパッケージ（ＩＣソケット）から外して  
EPROM あるいはEEPROMに書込まれた内容を消去し  
修正後のマイクロプログラム命令群を再度書込み  
装置評価を行っていた。

〔考案が解決しようとする問題点〕

上述した従来の装置で特にEEPROMを使用している  
ものは、書込み可能（WRITE ENABLE）ピンに対  
して電源ON時の論理回路の不安定状態、論理ミス  
あるいはノイズ等による誤動作でEEPROMに書込んで  
いた内容（マイクロプログラム命令群）の一部  
を破壊するという欠点がある。

本考案の目的はＩＣに書込んである内容の破壊  
を防止するＩＣソケットを提供することにある。

〔問題点を解決するための手段〕

本考案はＩＣのピンを嵌合接続するピン接続部  
を備えたＩＣソケットにおいて、ピン接続を導通  
及非導通状態に切換えるスイッチを前記ピン接続  
部に有することを特徴とするＩＣソケットである。

〔実施例〕

次に本考案の一実施例について図面を参照して



説明する。

第1図は本考案の一実施例の全体図であり、第2図はその断面図である。1はICソケット、2はスイッチ、3はピン接続部、4はIC（EEPROM）である。

ピン接続部3は、ピン接続部31とピン接続部32とからなり、ピン接続部3は、可動接触子2aを図中上方にスライドさせて2つのピン接続部31と32とを電氣的に接続し、一方可動接触子2を図中下方にスライドさせて2つのピン接続部31と32とを電氣的に遮断する構造のスイッチ2を備えている。スイッチ2をON側にスライドさせるか、OFF側にスライドさせるかによって2つのピン接続部31と32とを接続するか否かを決めている。したがって、ICソケット1に搭載したIC4の書込み可能ピン（例えばP1とする）に対してピン接続部3との接続をスイッチ2のON/OFFにより行い、これによりピン接続部32につながっている書込み可能論理回路の有効／無効を決め、IC4の内容（マイクロプログラム命令群）を書き換えたいときだけ有



効にする。

〔考案の効果〕

以上説明したように本考案はＩＣソケットのピン接続部にスイッチを設けることにより、電源ON時の論理回路の不安定状態，論理ミスあるいはノイズ等による誤動作によりＩＣの内容を破壊する状態を回避することが出来る効果がある。

４．図面の簡単な説明

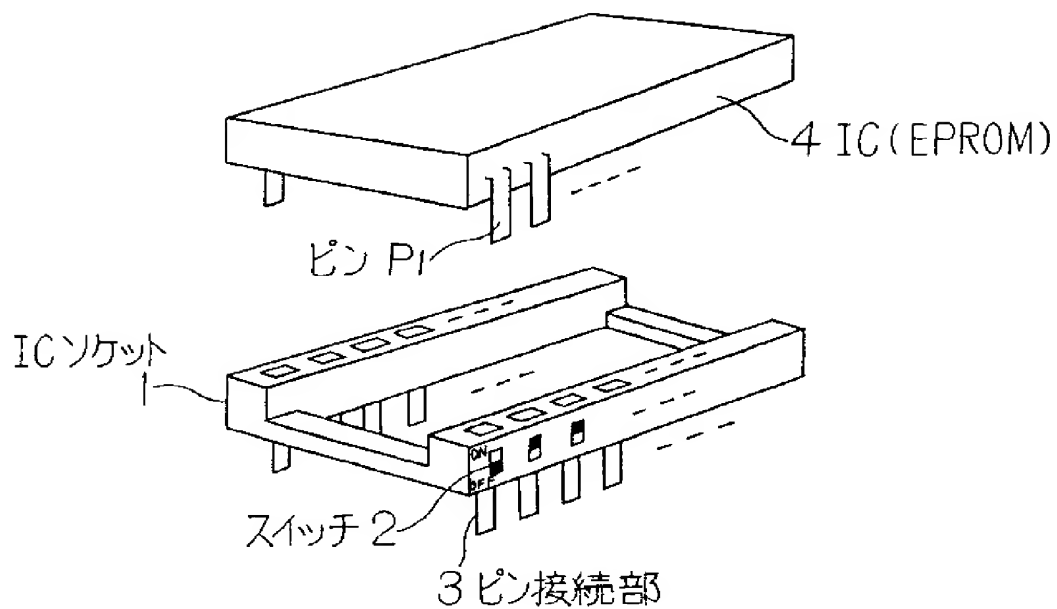
第１図は本考案の一実施例を示す全体図、第２図は同断面図である。

- |             |        |
|-------------|--------|
| １…ＩＣソケット    | ２…スイッチ |
| ３…ピン接続部     | ４…ＩＣ   |
| ３１，３２…ピン接続部 |        |

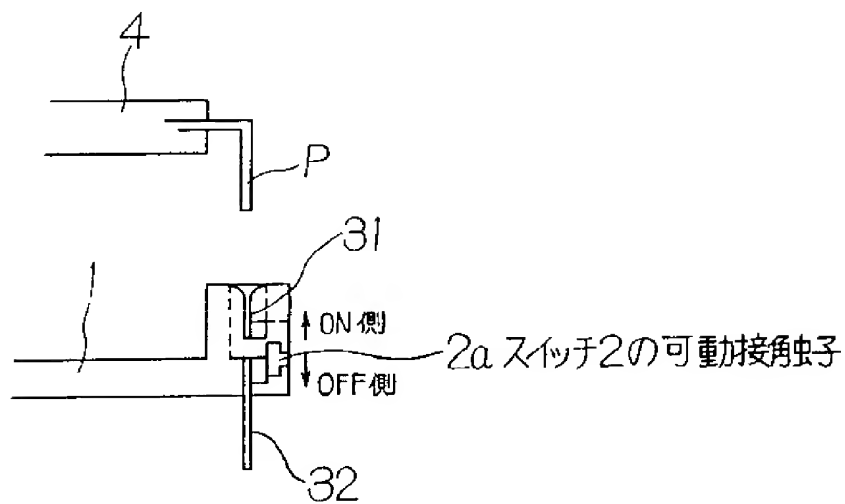
実用新案登録出願人 日本電気株式会社

代理人 弁理士 菅野





第 1 図



第 2 図